

## 耐候性保護塗料開発のベンチャー企業を導電塗料のスプレーコーティング（導電塗装）を主力とするメーカーが事業引継ぎ《第三者承継（中小M&A）》

□相談者 □ 《譲渡側》 株式会社丹宇(代表取締役 伊藤 博 氏 75歳)  
《譲受側》 プラスコート株式会社(代表取締役社長 安田知穂 氏 / 京都府久御山町)  
〔支援協力〕 公益財団法人京都高度技術研究所(ASTEM)

### 相談者(譲渡側)の概要と事業継続の課題

▶創業者の伊藤さんは1982年に家業であった材木卸業を法人成り創業したが、木材用外壁塗装の分野に将来性を見出し業種転換（壁の研究）、55歳から約17年木材保護材を主体に京都大学で研究に従事（製品開発）し、中小機構が運営する京大桂ベンチャープラザ内のラボで木質系耐候性保護塗料「タウンガード」を開発した。同製品はコンクリート用保護剤や神社仏閣等の木造構築物保護剤として広く活用されている。

▶業績は堅調に推移していたものの、事業の拠点である京大桂ベンチャープラザの退去期限が2024年6月に迫り、自身の75歳という年齢を考え、後継者が不在であったことから、自身も研究者として製品開発に携わる企業への第三者承継に向けて検討を始めた。



(株)丹宇の伊藤社長(中央右)とASTEMの小野寺氏(右端) プラスコート(株)の安田社長(中央左)と田邊部長(左端)

### 譲受企業の熱意

▶売り買い双方の企業がお互いの技術や製品に高い関心を持っており、特にプラスコート(株)で研究開発を担当している田邊取締役は、(株)丹宇の「タウンガード」を過去から高く評価していた。今回の事業引継ぎを通じて是非シナジー効果を追求したいとの強い意向を示され、細部の協議を重ねた結果、(株)丹宇の事業をプラスコート(株)に譲渡する第三者承継に至った。



事業を引継いだプラスコート(株)  
京都府久御山町森川端九一

### 当センターの支援

▶外部専門家の派遣による事業譲渡契約書の策定支援 ▶譲渡対象資産等の洗出と譲渡に向けた細部の確認他アドバイス ▶M&A型事業承継支援補助金[(公財)京都産業21]を紹介  
… (2024年5月 100万円採択) ▶広報支援：京都商工会議所会報(2024/9月号)で紹介

### 支援の経緯



### タウンガード

木材の防腐・防蟻・防藻・防蟻・防汚、機能性保護塗料  
木材だけでなく、  
土壁・漆喰・コンクリートも機能性を保護



(株)丹宇が開発した木質系耐候性保護塗料

▶予めから同社の第三者承継支援を続けてきた(公財)京都高度技術研究所の小野寺氏(地域産業活性化本部 京都市桂イノベーションセンター事務長・チーフマネージャー)から京都商工会議所の洛西ビジネスサポートデスクを介して京都府事業承継・引継ぎ支援センターに支援協力の要請があった。

▶小野寺氏からの紹介先の内、伊藤社長は京都大学宇治キャンパス産学交流会でも旧知であるプラスコート株式会社を第一候補に定めたことから、当センターは具体的な調整を進めた。



(株)丹宇が入居していた京大桂ベンチャープラザ南館

### ひとこと

今回の事業引継ぎには、3つのポイントがあります。

- ①新分野への進出を目指していた企業が高く評価していた商材を事業承継で手に入れることができた。
- ②これまで産学連携で研究開発してきた木質系耐候性保護塗料の継続した取り組みが実現した。
- ③地域の支援機関が連携して短期間で事業承継を実現することができた。

(公財)京都高度技術研究所の小野寺さんのマッチングサポートがあり、当センターとしても効果的な支援ができました。



京都府事業承継・引継ぎ支援センター  
統括責任者代理 重野利明